

可動 間仕切 収納 **セフィット 可動間仕切収納 【袖壁パネル】**

施工説明書

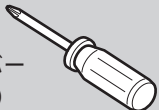
- 作業開始前に、この施工説明書をよくお読みの上、正しく施工してください。
- 同時に本体を組み立てる場合は、本体金物セット梱包に同梱されている、本体施工説明書をあわせてお読みください。

施工時のご注意

- 開梱後、取付前に部材・部品の数及び損傷等がないかどうかご確認ください。組立後の部品の交換はお受けできない場合があります。
- 付属の部品以外の部品を使用して組み立てないでください。
- 作業は必ず手回しのドライバーで行ってください。組立金具等の破損の原因となりますので、電動ドライバーは使用しないでください。

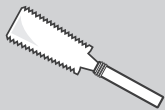
使用工具

⊕ドライバー
(手回し)



使用工具

のこぎり



安全に関するご注意



この絵表示は必ず実行していただく「強制内容」を示します



注意 この表示を無視して誤った取り扱いをされた場合、使用者が傷害を負う可能性が想定される内容、または、物的損害のみの発生が想定される内容を示します。

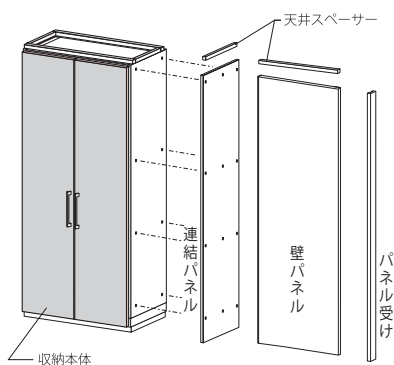


注意 高い位置にパーツを取り付ける際は、脚立等を正しく使用し、転倒や部材の落下にご注意ください。

1 製品構成図

袖壁パネル

◆ MP2-LE



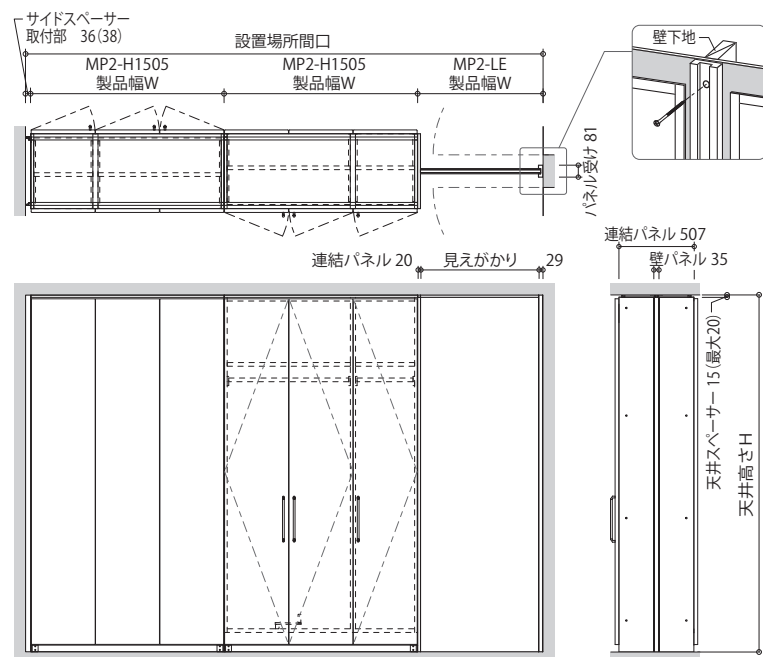
2 部材・部品表

部材表	MP2-LE
① 壁パネル	1
② 連結パネル	1
③ パネル受け	1
④ 天井スプーサー	2

部品表	MP2-LE
1 壁固定ビス	4
2 壁パネル連結ボルト	4
3 連結パネル連結ボルト	8
4 連結パネル連結ボルト用キャップ	8
5 穴隠しキャップ (10φ)	8

3 納まり参考図

完全間仕切
MP2-H1505×2台 MP2-LE×1セットの場合



- 袖壁パネルはパネル受けを壁にビス固定する商品です。壁設置用下地が入った位置で間仕切りしてください。オープンなワンルームに戻す際、ご家族だけで取り外しが可能ですが、壁にビス穴が残ります。
- 袖壁パネル単品で壁として自立することはできません。必ず可動間仕切収納本体と組み合わせてお使いください。
- 建築幅木・廻縁がある場合は、パネル受け(壁側)の現場カットが必要です。
- 明かり漏れ・音漏れ、パネル強度は建具同等となりますのでご注意ください。
- 可動間仕切収納の奥行方向に対して、中央または左右に固定します。

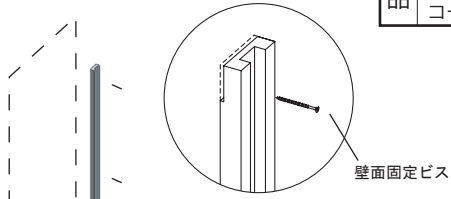


4 組み立て

4-1 パネル受けの取り付け

壁面にパネル受けを壁面固定ビスで固定してください

使用部品
壁面固定ビス
コースレッドL=57

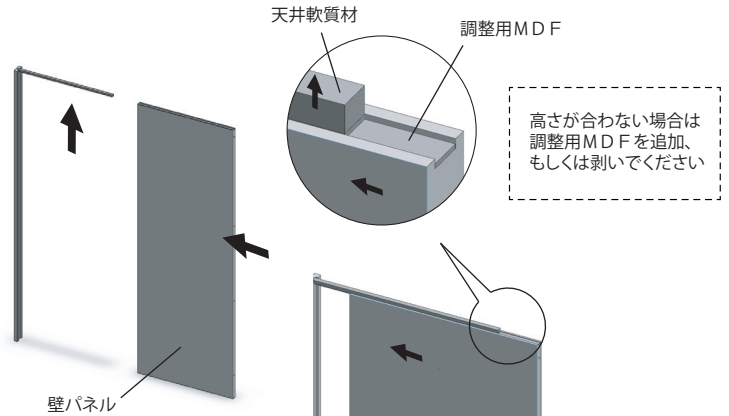


※幅木・廻縁と干渉する場合は、
パネル受けをのこぎりで切り
欠いてください。

※下地が必要

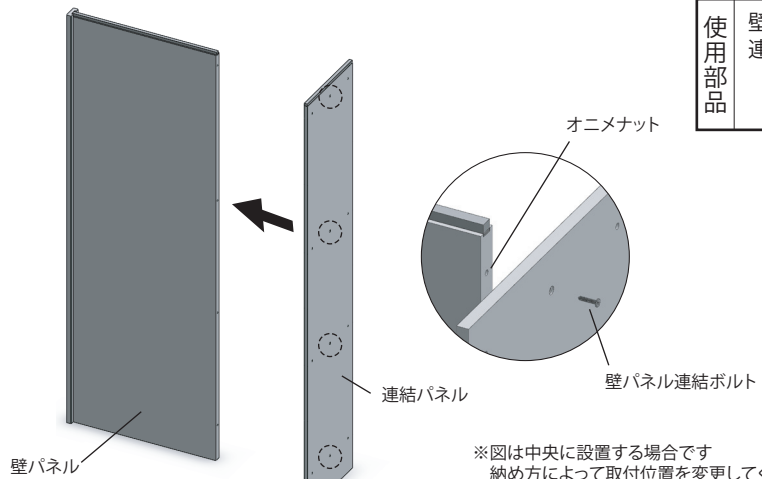
4-2 壁パネルの取り付け

パネル受けに直角になるように、天井スペーサーを天井に押さえつけながら壁パネルをスライドさせてパネル受けに差し込んでください。



4-3 連結パネルの取り付け

壁パネルと連結パネルを連結ボルトで固定してください。
左右、中央の貫通孔のある位置に取り付けが可能です。



使用部品
壁パネル
連結ボルト

※図は中央に設置する場合です
納め方によって取付位置を変更してください

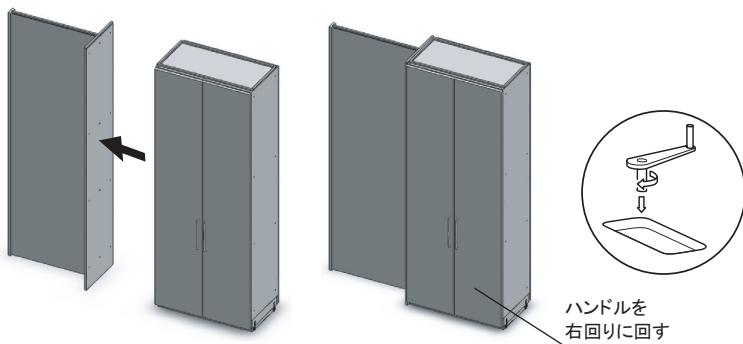
4-4 本体との連結

- 1) 可動間仕切り収納本体を袖壁パネルに寄せ、ジャッキアップして固定してください。
(本体の詳しい固定方法は可動間仕切り収納本体の施工説明書をご参照ください)
- 2) 連結パネルに本体を、本体内側から連結ボルトで固定してください。
ボルトにキャップを被せてください。
- 3) 連結パネルの側面の穴を穴隠しキャップでふさぎます。

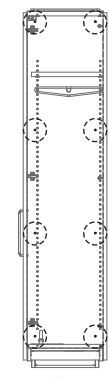
使用部品
連結パネル
連結ボルト
連結パネル
連結ボルト用キャップ
穴隠しキャップ
φ10穴
片側8ヶ所

連結ボルト・キャップ取付位置

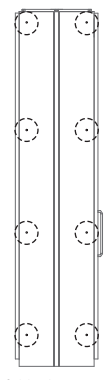
穴隠しキャップ取付位置



ハンドルを
右回りに回す



<本体内側>



<連結パネル側面>

※図は中央に設置する場合です
納め方によって取付位置を変更してください